



# グリップヒーター HG115/120/125 取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をお読みいただき、いつも手元に置いて、正しい取扱方法により  
永くご愛用くださるようお願い申し上げます。

- 販売店様へ この取扱・取付説明書は、必ずお客様にお渡し下さい。
- お客様へ この取扱・取付説明書は、必ず保管してください。

## 安全上の注意事項

必ず取扱説明書に書かれていることを厳守して作業を行なって下さい。



### 警告

**この表示を無視して、誤った取扱をすると、  
人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

- 製品包装のビニール袋は、子供や幼児がかぶったり吸い込んだりしないよう、手の届かないところに片付けるか、廃棄処分すること。(窒息の危険があります。)
- 各取付ボルト及びナットは、規定トルクを厳守し、締め付けること。  
(ボルト及びナットの破損や緩みの原因となり、部品の脱落等によって怪我や、死亡事故につながる恐れがあります。)
- エンジンを始動する場合、換気の良い場所で行うこと。  
(排気ガスにより、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- エンジン回転中や停止後しばらくの間は、マフラーは高温になっています。  
・絶対に近くにガソリンなどの危険物や、燃えやすい布などを置かないこと。(火災の原因になります。)  
・絶対に人や動物などが触れない場所にとめ、触らないようにすること。(火傷の原因になります。)
- 構造上最低地上高が低くなる場合がある為、マフラーを接地させる無理な運転操作や段差等でマフラーが擦らないよう注意して下さい。  
(マフラーを接地させるような運転を行うと、転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。)
- 法定速度を守り安全運転をすること。  
(転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。)
- マフラーが、フレームやオイルライン等に干渉したままエンジンを始動したり、走行しないこと。  
(火災の原因や、転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。)
- 本書は、国家検定整備士資格を持った方を対象にしています。整備士資格をお持ちでない方は、信頼のおけるお店に取り付けを依頼して下さい。



### 注意

**この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び、  
物的障害の発生が想定される内容を示します。**

- 指定車種以外の装着は行わないこと。(製品の機能が損なわれ、故障等の原因になります。)
- 製品を分解、加工、改造をしないこと。(製品の機能が損なわれ、故障等の原因になります。)
- エンジンが冷えてから作業をすること。(エンジンが熱い状態で作業をすると火傷の原因になります。)
- 水平な場所で、車体を安定させてから作業を行うこと。  
(作業中オートバイが倒れて怪我をする恐れがあります。)
- 作業する時は怪我防止の為、作業手袋を着用しエッジ部に気をつけて作業行なって下さい。  
(エッジ部はバリ等がある可能性がある為、手など切ったり怪我をしないよう注意して作業を行って下さい。)



# GRIP-HEATER HG115/120/125

## INSTRUCTIONS MANUAL 取扱説明書

### <重要> 取付ける前に必ずお読み下さい。

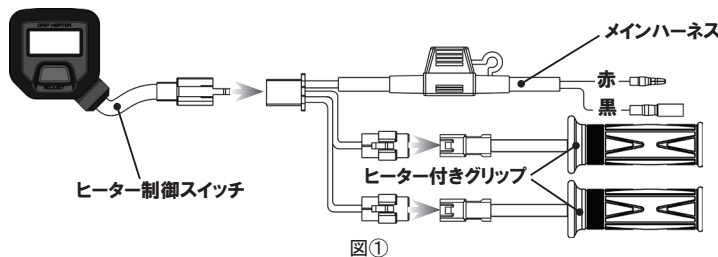
HIDキットや社外品のイグニッションコイルなど高電圧ノイズが出る製品と同時に装着しないで下さい。  
高電圧ノイズによりデジタル回路に悪影響を及ぼし、メーターの誤表示、最悪の場合には故障の原因になる恐れがあります。そのため、適応は電装系が全てノーマル車のみとなっておりますのでご注意下さい。  
電装系がノーマルではない車両に取り付けした場合、本製品が故障しても保障の対象外となり、一切の保障は出来ませんので、ご注意下さい。

#### ①配線の接続について(図①)

グリップヒーター側のギボシはφ3.5(ホンダ車サイズ)となっております。車体側のハーネスに適切な接続箇所がない場合には付属しているギボシセットを使って接続して下さい。

<配線>

- ・黒(アース線)  
適切なアース線が見つからない場合には付属のアース端子を使って、フレームなどに直接アースして下さい。
- ・赤(DC12V電源線)  
キーONでDC12Vの電圧がかかる配線に接続して下さい。



※付属しているエレクトロタップは配線を簡単に接続出来る便利ですが、接続不良のトラブルが起き易い部品です。特に走行振動に弱いので、使用する場合には配線テープなどで揺れないようにして下さい。出来るだけエレクトロタップは使わないようにして、ギボシでの接続をお勧めします。

#### ●NOTE●

ヒーター付きグリップですが、内径の小さい方が左側用で、大きい方が右側用(スロットル側)です。グリップとハンドルやスロットルパイプとのクリアランスが大きい場合には、付属のアルミシールをハンドルやスロットルパイプに貼ってクリアランスを狭くして、グリップが回らないようにしてから固定して下さい。または別売りの接着剤を使用して固定して下さい。

#### ●注意●

車両についているスロットルパイプにグリップのズレ止め用突起(凸)がある場合には、すべて削り取って下さい。グリップがスムーズに入るようにきれいにして下さい。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがありますので、絶対にしないで下さい。

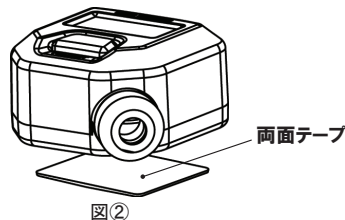
※バーエンドを使用しない(非貫通グリップとして使用)場合、接着剤(別売)を使って付属のエンドキャップをグリップに固定して下さい。

接着剤を塗布

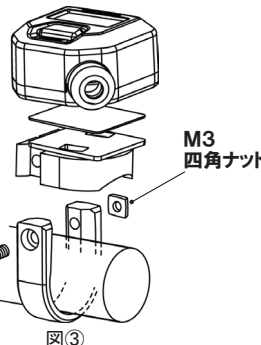


#### ②ヒーター制御スイッチの固定について

付属の両面テープを使って、スイッチを適切な位置に固定して下さい。(図②)  
付属のハンドルブラケットを使う場合には、図③を参考にして下さい。



M3×25  
キャップボルト



### ③ヒーター制御スイッチの動作手順について



イグニッションキーをONの位置に回すと、LEDバックライトが点灯し、電圧を表示します。

ボタンを一回押すと加熱を開始します。



<スタートアシスト機能ONの場合>  
設定したスタートレベルで加熱を開始し、設定したアシスト時間経過後、自動的に設定したエンドレベルに移行します。

<スタートアシスト機能オフの場合>  
前回イグニッションキーをオフにした時のレベルで加熱を開始します。

●NOTE●  
スタートアシスト機能のオン/オフとアシスト時間、スタートレベル、エンドレベルの設定方法は右のA-2~4項をご参照下さい。



ボタンを1回押すと  
<スタートアシスト機能中の場合>  
スタートアシスト機能を終了します。このとき、設定したエンドレベルになります。

<スタートアシスト機能オフの場合>  
レベルが1つ下がります。

●NOTE●  
レベルは1~5の5段階で、5が最大です。レベルバーが全部消えるとヒーター OFF です。



ボタンをもう1回押すとレベルがさらに1つ下がります。レベル1の次は OFF で、その次はレベル5になります。

### ④ヒーター制御スイッチの設定について

#### 1. レギュレート機能の設定

レギュレート機能とは、電圧低下に追従して通電量を制限する機能です。設定した電圧以下の場合にヒーターの出力を制御して電圧がこれより下がらないようにします。

電圧が上がれば、元のレベルで暖め始めます。

<設定方法>

ボタンを3秒以上長押しすると、下限電圧の設定画面に入ります。その後、ボタンを短押しすると電圧が変わります。



この設定した電圧以下にならないように、ヒーターの出力を自動的に制御します。制御中は“REGULATE”の文字を出し、電圧表示が点滅します。

●NOTE●  
調整範囲は10.0V~13.0V (0.1V単位) です。

#### 2. スタートアシスト機能の設定

スタートアシスト機能とは、最初の加熱を手伝う機能です。“スタートレベル” “アシスト時間” “エンドレベル” を設定しておけば、キーON時にボタンを1回押すだけで設定した通りに暖めてます。

<例>

レベル5で5分間暖めてからその後レベル3に下げる。



アシスト時間

下限電圧設定から、さらにボタンを3秒以上長押しすると、スタートアシスト時間の設定画面に入ります。その後ボタンを短押しすると時間(分)が変わります。  
<例> “5” に設定する。

●NOTE●  
調整範囲はOF、1分~20分 (1分単位) です。OFを選ぶとスタートアシスト機能オフ (使用しない) の設定となります。OFを選ぶと次項に進みません。



スタートレベル

ボタンを3秒以上長押しすると、スタートレベルの設定画面に入ります。その後ボタンを短押しするとレベルが変わります。  
<例> “5” に設定する。

●NOTE●  
調整範囲は [3] ~ [5] です。

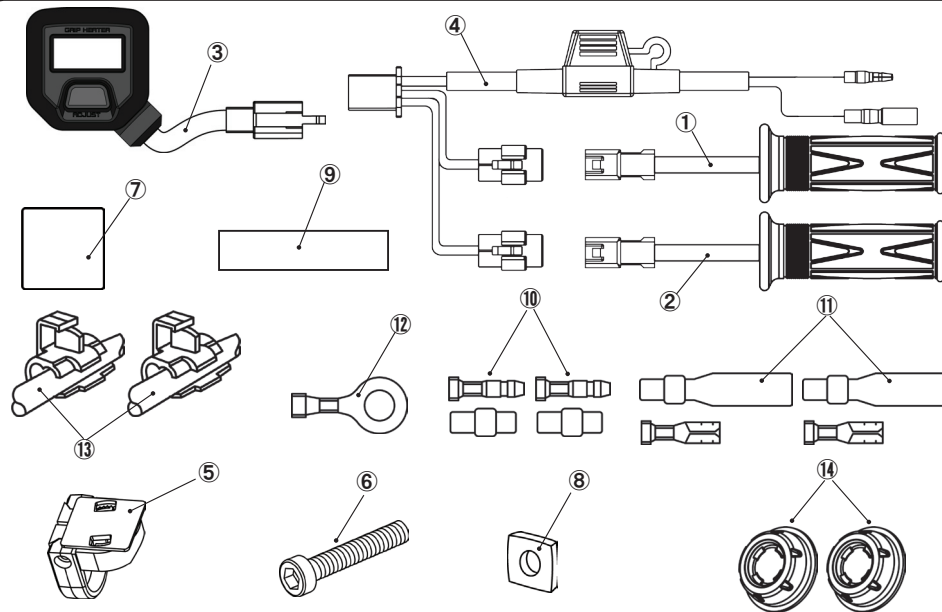


エンドレベル

ボタンを3秒以上長押しすると、エンドレベルの設定画面に入ります。その後ボタンを短押しするとレベルが変わります。  
<例> “3” に設定する。

●NOTE●  
調整範囲は [0] ~ [4] です。  
※スタートレベルより高いレベルは選択出来ません。

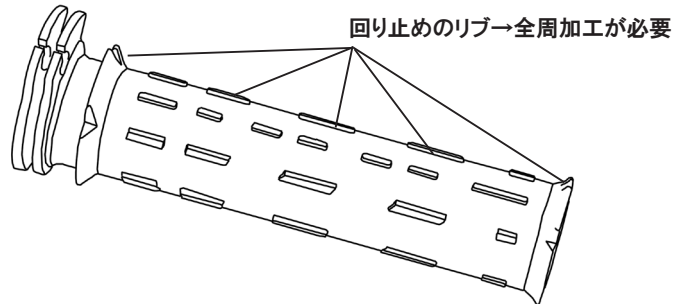
### ●構成部品について



番号	部品番号	品名	HG115	HG120	HG125	金額
①	08T50-HAN-E01	グリップヒーター-L側	1	—	—	¥5000 <small>税抜</small>
	08T50-HAN-E41	グリップヒーター-120 L側	—	1	—	¥5000 <small>税抜</small>
	08T50-HAN-E51	グリップヒーター-125 L側	—	—	1	¥5000 <small>税抜</small>
②	08T50-HAN-E11	グリップヒーター-R側	1	—	—	¥5000 <small>税抜</small>
	08T50-HAN-E31	グリップヒーター-120 R側	—	1	—	¥5000 <small>税抜</small>
	08T50-HAN-E61	グリップヒーター-125 R側	—	—	1	¥5000 <small>税抜</small>
③	—	HGヒーター制御スイッチ	1	1	1	¥5000 <small>税抜</small>
④	08Z51-HAN-E01	メインハーネス	1	1	1	¥2000 <small>税抜</small>
⑤	08T49-HAN-E01	HGハンドルブラケット	1	1	1	¥1000 <small>税抜</small>
⑥	SBOLT03012FS-E	キャップボルトM3×25	1	1	1	¥150 <small>税抜</small>
⑦	08T50-EWA-E0C	両面テープ	1	1	1	¥200 <small>税抜</small>
⑧	SNUT02014FS-E	M3 四角ナット	1	1	1	¥100 <small>税抜</small>
⑨	08T50-EWA-E0H	アルミテープ	6	6	6	各 ¥200 <small>税抜</small>
⑩	08T50-EWA-E0A	φ3.5オスギボシセット	2	2	2	各 ¥100 <small>税抜</small>
⑪	08T50-EWA-E0B	φ3.5メスギボシセット	2	2	2	各 ¥100 <small>税抜</small>
⑫	08T50-EWA-E0D	6mmアース端子	1	1	1	¥100 <small>税抜</small>
⑬	08T50-EWA-E0E	エレクトロタップ	2	2	2	各 ¥100 <small>税抜</small>
⑭	08T50-HAN-E21	グリップエンドキャップ	2	2	2	各 ¥1000 <small>税抜</small>
	—	グリップヒーター-HG115	1	—	—	各 ¥9000 <small>税抜</small>
	—	グリップヒーター-HG120	—	1	—	各 ¥9000 <small>税抜</small>
⑮	—	グリップヒーター-HG125	—	—	1	各 ¥9000 <small>税抜</small>

#### <スロットルパイプの加工について>

純正スロットルパイプは下図のようにグリップ回り止めのリブが立っています。そのためグリップヒーターの装着には、リブ加工する必要があります。但し、リブを全部削り取ってしまうと削りすぎになるので、スロットルパイプの加工した部分の外径がφ26になるように加工して下さい。



ご自身で加工される場合、リブを削った後に一旦、接着剤は使用せずにグリップヒーターを差し込んで確認して下さい。手差し込んでちょっときついくらいで、外そうとすれば外せるくらいならば、グリップヒーターのケーブルの角度、位置を確認し、接着剤を使用して取り付けして下さい。

差込みに苦労するくらいきつい場合は加工不足なので、**無理に押し込まず**再度加工して下さい。

※無理やり押し込んだ場合、途中で奥まで入らなくなったり、ハンマーなどで叩き込んだりすると、グリップヒーターの破損に繋がりますので、絶対にお止め下さい。

**この場合、保障の対象外になり一切の保障は出来ませんのでご注意ください。**

#### <取り付けについて>

グリップヒーターは簡単に抜けてしまうと大変危険なので、ハンドルやスロットルパイプとのクリアランスを小さくしています。そのため、組み付け時にはきつくて組み付けにくい場合があります。

##### ・推奨取り付け方法・

グリップを取り付ける前に、グリップヒーターの説明書を参考にして配線加工を行い、電源が入る状態にします。電源をONにして、グリップヒーター自体をじっくり暖めてから、取り付けると幾分取り付けやすくなります。(目安は3分程度で、これ以上暖めるとグリップヒーターの変形や破損する恐れがありますのでお止め下さい。特にスロットル側は厚みが薄いので、手で触ってほんのり暖まっている程度でお止め下さい。)

このとき内側には接着剤を塗布しますが、熱で接着剤の成分が霧状になってしまう恐れがありますので、吸わないようにマスク等してから取り付けして下さい。

また、パイプに差し込む時に途中で止めてしまうと接着剤でくっついてしまいます。途中でグリップヒーターを止めない様になるく回しながら差し込むとくっつかないで取り付け出来ます。

##### ※注意※

グリップヒーターを暖めるとかなり熱くなりますので火傷しないように注意して下さい。  
また、暖め過ぎると変形、破損しますのでご注意ください。

##### ・接着剤での取り付けについて・

付属のアルミシールではなく接着剤でがっちり接着したい場合には、コニシ製ウルトラ多用途などの耐熱性のある接着剤をご使用して下さい。その際にはすぐには接着されないの、使用した接着剤に記載されている硬化時間まで待ってから使用して下さい。

#### <Q&A>

ご質問、お問い合わせを多く頂いている事例について、下記にてQ&A方式にして記載してありますので、お問い合わせ頂く前に一度ご確認ください。

##### Q：事前にグリップを暖めたのに、右側（スロットル側）のグリップだけ硬くて入れにくい。

A：スロットルパイプには、グリップの回り止めのリブが表面に立っている場合が多いです。この場合には、加工が不十分だと考えられますので、グリップが入る部分全てのスロットルパイプの外径がφ26になるように加工して下さい。

##### Q：メーター部分の電圧表示が点滅していて暖まらない。

A：本製品のレギュレート機能が働いている可能性があります。バッテリー電圧より、レギュレート機能で設定している電圧が低くなっている場合には表示が点滅して、バッテリー保護のためヒーターが作動しません。レギュレート機能の設定電圧を低くするか、バッテリーを充電または交換して下さい。

##### Q：メーター部分の電圧表示がデタラメな表示をしていて暖まらない。

A1：グリップヒーターの電源を取っている部分が安定してバッテリー電源が供給されているか確認して下さい。専用ハーネスでの接続の場合、ちゃんとオプションカプラーに接続しているか確認して下さい。誤ってサービスチェックカプラー（赤）に接続した場合も同様に誤表示します。

A2：HIDなど高電圧ノイズが出る製品がついていませんか？本製品はデジタル制御しているため、ノイズを拾ってしまい誤表示してしまいます。

##### Q：左右のグリップで暖まりが違う。

A：左側はハンドルパイプ（金属）に直付けのため、熱がハンドルパイプに逃げやすいので、右側はスロットルパイプに取り付けなので、熱が逃げにくくなっています。そのため、どうしても左側の暖まりが悪く感じてしまいます。

##### Q：片側（もしくは両方）がまったく暖まらない。バッテリー電圧よりかなり異なった電圧を表示している。

A：グリップヒーターの配線が断線している可能性があります。テスターをお持ちなら、グリップのカプラー内に見える端子間抵抗値を測定して9～10Ω程度が正常値なので、断線していると全く違う抵抗値になります。この場合、グリップを交換になります。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※当社の取り扱い説明書等、十分ご確認ください。

※当社製品以外の保証は一切お受けできませんので予めご了承下さい。

##### 注意

1. 本製品のパーツリストをもとに部品をご確認してから製品の取付をお願いします。
2. 取付・調整が終了したら、各部分のボルト・ナットの締め忘れが無い様にご注意下さい。
4. 取外した純正部品（ボルト等）は元に戻す際に必要になりますので、必ず保管して下さい。

有限会社エンデュランス

〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL049-222-7770 FAX049-226-1625

<http://www.endurance.co.jp/>